

第23号書式（第29条）

阪航工契 459 号

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 名古屋空港ASR局舎改修工事

開 札 年 月 日 令和2年9月18日 （落札決定日 令和2年10月21日 ）

入 札 執 行 官 署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 11,880,000 -

落 札 者 株式会社高坂工業

予 定 価 格 ￥ 16,082,000 -

積 算 額 ￥ 16,082,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 14,620,000 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 14,641,064 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 13,310,059 -

基 準 評 価 値 683.994

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点150点)	第1回入札			第2回入札			摘 要
		入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	
株式会社高坂工業	111.5	10,800,000	1032.407	○				落札

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和2年10月21日に落札者を決定した。

上記内容について相違ないことを証明する。

令和2年10月21日

契約担当官等

支出負担行為担当官 大阪航空局長 甲田 俊博

項 目	内 容
1. その価格により入札した理由	長年取引のある下請け業者へ図面及び参考数量を送付し、その見積もり価格と自社の管理費等を含めた金額により入札価格としている。現在も同種の防水改修工事を複数実施しており共通する資材も多いため、他工事分と併せて購入することにより市場価格より安く仕入れることが可能としていることや、過去に空港内での同種工事実績があり、空港周辺の立地条件等を把握していることから作業の効率化が可能としている。防水工事業を専門として外壁改修工事の営業実績も多く、下請け業者も長年取引実績があることから諸経費の削減が可能であるためである。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	手持ち工事1件で、現場が当該工事の近傍にあることから、技術者は適正に配置されることとなると思料される。
3. 契約対象工事に関連する手持工事の状況	手持ち工事は3件あるが、11月までに2件完了を予定、もう1件の工事現場が当該工事の近傍にあることから、技術者の配置に問題はないものと思料される。
4. 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との関連(地理的条件)	当該工事場所から調査対象者の(株)高坂工業の事務所は16kmの位置にあること、配置予定技術者が名古屋空港近傍に居住していることから緊急時の対応及び安全管理に優位性があることを確認した。
5. 手持資材の状況	当該工事における仮設資材については、すべて下請及びリースにて対応予定であることを確認した。
6. 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材については、長年取引がある協力業者から調達を予定しており、取引価格もこれまでの取引価格で計上していることを確認した。
7. 手持機械数の状況	当該工事において使用する資機材については、全て下請け及びリースにて対応予定であることを確認した。
8. 労務者の具体的供給見通し	各工種別に労務者を確保し適切に配置する予定であることを確認した。
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	①名古屋工業大学18号館外壁改修工事(国立大学法人名古屋工業大学) ②屋上広場防水改修工事(愛知県) ③千種障害学習センター外壁改修工事(名古屋市) を含む35件の実績が過去5年間にある。
10. 経営内容	財務諸表の数値から見て履行がなされないという状況は見られない。
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	本件において、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとはいえないことなどから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
12. 9の公共工事の成績の状況	過去に施工した公共工事を確認したところ、平成27年度～令和元年度において建築工事(外壁及び屋上防水改修工事)として、国の機関7件、独立行政法人1件地方公共団体27件の計35件の施工実績があり、国発注工事の工事成績評定のあったものは6件、平均70.8点で、概ね適切な施工が行われていると思料される。また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が1件あったものの、発注者へのヒアリングにより特に問題なく施工が完了していることを確認できた。
13. 経営状況	非公表
14. 信用状態	①建設業法違反の有無 なし ②賃金不払いの状況 なし ③下請け代金の支払遅延状況 なし ④その他
15. その他必要な事項	